

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S14 -	施策名	古戦場公園再整備事業			
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課				
基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち		
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する		
		施策の進め方	1	町固有の伝統文化の継承		
	まちづくり行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～		
		政策分類	11	魅力ある景観を創り出す		
	その他(関係法令、要綱等)	古戦場公園再整備基本計画				
施策開始の背景、経緯等	国指定史跡「長久手古戦場」を含む古戦場公園における施設の老朽化に伴い、古戦場公園再整備事業を第5次総合計画に施策として位置づけた。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 古戦場公園再整備基本計画に基づき、古戦場公園一帯を再整備する。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 国指定史跡を含む古戦場公園一帯。				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 歴史的価値を見出し、史跡を構成する要素を明らかにし、将来へ渡って保存、活用していく。				
	施策に係る主なコスト	① 保存活用計画策定委託	4,190 千円	② 特別旅費	240 千円	
目標・成果推移	A	28年度	29年度	30年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		目標	目標	目標	目標	目標
	史跡長久手古戦場保存活用計画	策定委員会を開催し、文化庁等と協議した上で、国指定史跡地を含む古戦場公園部分について計画を策定する。	策定委員会を開催し、文化庁等と協議した上、武蔵塚等古戦場公園以外の国指定史跡地について計画を策定する。	計画に基づき、現状変更が発生した場合に文化庁等との協議により許可を受ける。	計画に基づき、現状変更が発生した場合に文化庁等との協議により許可を受ける。	計画に基づき、現状変更が発生した場合に文化庁等との協議により許可を受ける。
		実績	実績			
	B	28年度	29年度	30年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		目標	目標	目標	目標	目標
	古戦場公園再整備基本計画	地域別意見交換会(6小学校区)の開催、市民ワークショップ、郷土史研究会意見交換会、特別展アンケート調査等を実施し、計画を策定する。	公園運営を市民主体で実施するための(仮称)パークマネジメント組織を立ち上げる準備を行う。	計画に基づき、古戦場公園再整備の建築、造園、展示に関して基本設計を実施する。また、関係団体と(仮称)パークマネジメント組織設立に向けた検討を行う。	古戦場公園の再整備工事に着手する。	古戦場公園再整備工事が完了するとともに、工事完了までに(仮称)パークマネジメントを設立する。
		実績	実績			
	地域別意見交換会(6小学校区)の開催、市民ワークショップ1回、郷土史研究会意見交換会2回、特別展アンケート調査を実施し、延べ579人から意見聴取し、計画を策定した。	先進地視察やボランティアガイドの研究を行った。また、現在の古戦場公園の関係団体に公園運営のあり方を説明した。				
	環境変化	他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 岐阜県関ヶ原町H22.3策定(史跡関ヶ原古戦場保存管理計画)、名古屋市H27.3策定(史跡志段味古墳群保存管理計画)、小牧市H27.3策定((仮称)史跡センター整備基本構想)、小牧市H28.3策定((仮称)史跡センター周辺史跡整備基本計画)、愛知県H28.3策定(史跡貝殻山貝塚保存管理計画)、			
改善状況	前年度からの改善点	(何をどのような状態に改善したのか) 長久手市郷土資料室特別展において、古戦場公園再整備基本計画を説明するブースを設け、来場者への周知を図った。				
評価	目標達成状況	(目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など) 史跡長久手古戦場保存活用計画を策定することができた。				
	課題	(目標達成状況を踏まえ、課題を整理) 古戦場公園再整備基本計画に基づき、市民主体で古戦場公園を運営する組織づくりを進めていく。				
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後、史跡長久手古戦場保存活用計画及び古戦場公園再整備基本計画に基づき、基本設計、実施設計を行う。				